

4年	自分の住んでいる場所の記事を探そう 行ったことのある場所の記事を探そう
社会	

年 組 番 名前

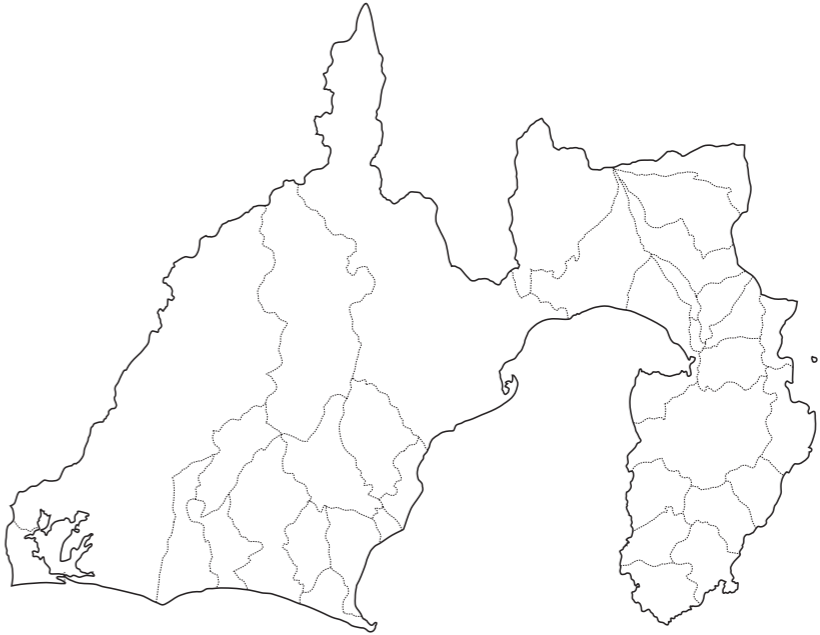
☆自分の住んでいる場所について、文化・産業・自然など特色ある記事をはりつけ、まとめよう。

☆他の県の友だちに紹介する文を書いてみよう。

コピーを児童に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

※指導する先生や保護者の皆様へ
 世界の中の日本、日本の中の静岡、静岡の中の居住地域、という具合に巨視的な観点からミクロの視点に収斂させると、相乗効果が上がるでしょう。県内の行ったことがある場所の記事は、ピンポイントで掲載されることは滅多にないので、大体の場所でよいでしょう。旅の経験を反芻すること、そして友人に伝えることにより思い出が強化されると思います。修学旅行や社会科見学、キャンプの振り返り等にも応用できると思います。

☆県内で行ったことのある場所に★印を付け、その場所に関する記事・写真をはりつけよう。



☆友だちが行った場所を聞き、何が違って何が同じだったのか比べよう。

県内アドバイザー

一緒にNIE

静岡県人ならば、静岡に詳しいことは必須条件である。地域力は、今や有力な自己アピールの手法なのだと思えよ。もちろん観光案内をするのではないので、自分の将来の進路に、どの記事がどのように絡められるのかを模索しながら読まなければならぬ。また、一見何の変哲もない記事が、どこでどのように関連づけられるのかは全く予測不可能なので、いざというときにために頭の引き出しに入れておくという意識も必要だ。NIEはこの付加価値性に優れた教育方法であり、スローフード的に学習効果が現れると認識しておこう。

さて、その地域力、すなわち我々の「静岡力」に威力を発揮させるための記事の読み方は、

未来切り開く「静岡力」

(静岡市立高・実石克巳)

以下の通り。すなわち静岡独特の文化や産業、自然、特産物を複数組み合わせ、己の進路に結び付けて思考せよ、ということだ。例えば、県立大学薬学部とお茶などは良い例であろう。お茶の成分を薬に活かせるならば、伊豆の温泉と毛生え薬があっても良いかもしれない。

これらの「静岡力」の組み合わせは、突飛で通常ならば人が考えも付かないような内容が理想だ。その組み合わせを自分の進路といかに関連付け、いかにオリジナリティーを創成するかを考えつつ記事を読む必要がある。「静岡力」こそ自分の未来を切りひらく最大の武器と考え、日本だけでなく世界を相手に戦えるアイデアのツールとして獲得すべきではないか。新聞には、そのような人生のヒントが満載されているとしたら、徒らに疎かに読むことはできないはずだ。